

平成 29 年度 日本手術看護学会九州地区鹿児島分会主催  
第 20 回周手術期看護研修会の報告

平成 29 年 11 月 25 日 (土) 13:00~16:20

参加者：非会員：138 名 会員：44 名

協力員：14 名 合計 196 名

講演 1 『術後訪問で得られるもの～事例を通して～』

内 容：術後訪問について

講 師：鹿児島市医師会病院 手術室 手術看護認定看護師  
前田龍弥 (まえだたつや) 先生

講演 2 『優しい手術室 ——周術期のコミュニケーション』

講師：東京慈恵医科大学附属病院

麻酔科 木山秀哉 (きやましゅうや) 先生

今回の研修会は、講演時間 3 時間で PMT の単位取得のための研修会として初めての試みだった。講演 1 では、手術看護認定看護師による術後訪問を通じ、手術室看護師が感じている気持ちの共有や意見交換、看護師としてのやりがい感、達成感を患者様から直接聞くことにより持てたという事例紹介があった。参加者の中には、「共感できる」、「役に立つ」などの意見があったが、もう少し他施設での困ったところへの質疑応答などが活発にできると良かったのではないかという意見もあった。講演 2 では、手術室看護師やその他職種との連携の必要性、手術室の空間作り、コミュニケーション、麻酔時の留意点など周術期に携わるスタッフへ向けた講演で、普段何気なく流している音楽、会話、何気ない態度、挿管や抜管時を飛行機の離発着に例え危険な時間であるということを今一度考えた医療支援が必要である。スマホを利用した参加型の、ユーモアあふれる講演を 2 時間行って頂いた。参加者からは、「改めて周術期の看護・チーム医療を考える良い機会となった」「長時間と思えないくらいの有意義な時間だった」「これからの手術室看護に活かしたい」「多角的に物事を考える良い機会となった」など 9 割以上の参加者が満足したという回答があった。

3 時間という講演に関して、長いという意見もあったが、周手術期に携わる看護師として改めて考え、明日からの看護実践に活かして行きたい、頑張ろうという思いをかき立てられる良い研修会だった。

以上簡単ではありますが、研修報告とさせていただきます。



研修会の様子

2017/12/25

日本手術看護学会九州地区鹿児島分会 会長 惠 真紀